

# 令和元年度 島根県校友会総会・懇親会



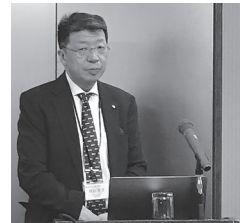
去る令和元年7月6日(土)、松江ホテル一畑にて、倉治康男校友会副会長(62回)、岡田康男新潟生命歯学部病理学講座教授(79回)を来賓に迎え、島根県校友会総会ならびに懇親会が開催された。総会に先立ち、岡田教授より「口腔粘膜疾患 がんを見逃さないために」と題しご講演いただいた。

総会は開会の辞に始まり、校歌斉唱の後、本年3月にご逝去された光安一夫校友会元会長(47回)のご冥福をお祈りし黙祷が捧げられた。

来賓挨拶と本部報告では倉治副会長より会員共済金、功労金に関する会則改正について、東京、新潟の附属3校の入学定員減少について、今年度800名を切った歯科技工士国試合格者の減少と技工士問題について、安倍内閣の「骨太の方針」における歯科関係記載の評価とそれに伴う予算の裏づけの必要性などご報告いただいた。学内報告では岡田教授より、開業医からの画像相談に答える「東京・新潟合同事業・遠隔画像診断システム」の紹介、新潟生命歯学部における「学費半額特待生制度」については特に島根県が地域特待者対象県であるため詳細に説明いただき、その他学内諸事についてご報告いただいた。

続いて会員表彰が行われ、厚生労働大臣表彰を吉田 敬 県校友会会長(67回)、文部科学大臣表彰を秦 紀一郎会員(63回)、県知事表彰並びに島根県教育委員会永年勤続表彰を野坂 裕 会員(66回)、校友会功労者表彰を菅田 整 会員(73回)がそれぞれ受賞された旨が報告された。

次に支部報告が行われ、影山直樹県校友会専務理



講演する岡田教授



表彰状の授与

事(76回)より、昨年9月1日に岡山県で開催された「平成30年度第84回中国地区歯学研修会」「中国地区役員連絡協議会」についての報告、吉田会長より本年2月16日に開催された「都道府県校友会会長会議」並びに本年5月25日に開催された「第132回校友会定時総会」についての報告、歯学会評議員岸 祐治会員(74回)より本年6月8日、生命歯学部富士見ホールで開催された「令和元年度歯学会大会・総会」についての報告、最後に吉田会長より本年6月29日に行われた「鳥取県校友会設立100周年記念式典・記念祝賀会」についての報告が行われた。

続いて、会計担当の内田真由美会員(71回)より平成30年度会計報告、監事の秦会員の監査報告が行われた。支部報告終了後、議事に移り、議長の野坂会員のもと「事業計画案並びに予算案」の決定がなされた。なお、「中国地区役員連絡協議会」が本年11月16日「松江・皆美館」にて開催予定であることが事業計画として報告された。また役員改選により新役員は以下のように決定された。会長・吉田 敬/副会長・江角保弘(71回)、菅田 整/専務理事・影山直樹/会計・内田真由美/広報総務会計補佐・田中良男(76回)/総務・蒲池悟郎(82回)/歯学会評議員(学術)・岸 祐治/監事・福本隆生(64回)。

総会終了後は懇親会に移り、吉田会長の会長挨拶、来賓挨拶に続き、乾杯の音頭を岡本正文会員(58回)に取っていただき開宴の運びとなった。多数の若手会員、個性豊かな先輩諸氏の参加により本年も楽しく有意義な時間を過ごすことができた。最後は福本会員の一本締めをもって懇親会終了となった。懇親会終了後は来賓の先生を交え二次会が行われた。  
(梶原光史・78回記)

